

# 菊池農業高等学校の行動計画（スクールアクションプラン）

5つの基本方針	10の行動計画	重点取組
グローバル教育で人材を育てる学校	「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。	地域の行事や各種団体等との交流を通して、学校で学ぶ知識・技術の定着と深化を図る。
		資格取得を推進し生徒の能力を引き出すことで、進路実現に繋げる。
	「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	海外インターンシップや視察研修を推進し、グローバルな視点で物事を考える力を身に付ける。
		地元の文化や伝統を学び、郷土の良さを理解し、地方創生に貢献する人材の育成を図る。
地域社会・産業に寄与する学校	「地域農業の生産を支える」教育を行います。	農業担い手として、専門の知識・技術習得のための基礎基本の徹底と、経営力向上のための実践教育を充実させる。
		行政と連携した就農教育の推進を図るとともに、農業の魅力をPRする。
	「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。	現場実習やインターンシップを通して職業観を育み、勤労意欲や就労意識の向上を図る。
		プロジェクト学習や農業クラブ活動を通して、6次産業化を学び、地方創生における農業の展望を考える。
地球環境を守り創造する学校	「地球環境を守り創造する」教育を行います。	環境に優しい農業をテーマに行政とタイアップした認証制度に取組み、環境に配慮した農業を実践する。
		日頃の学習活動や環境美化ボランティア活動を通して、地球環境における農業の果たす役割について学ぶ。
	「食農」教育を推進します。	農業が食の安全・安心の根幹を担っていることを日頃の学習活動の中で展開し、意識付けを図る。
		命を大切にすることをすべての領域において指導する。
地域交流の拠点となる学校	「地域資源を活用する」教育を行います。	地元農家との交流や体験学習を通して、特産品や農産物生産技術を学び、新たなブランド品づくりを目指す。
		地元で活躍する農業経営者や起業化した経営者との交流を通して、地域農業の担い手を育成する。
	「地域交流の拠点となる」教育を行います。	行政と連携し、地元農家や農業法人、NPO等との交流を通して、農業で地方創生を目指す人材を育成する。
		大学や地元企業、農家と連携し、農業を中心とした6次産業化に取り組む。
「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。	地域に開かれた学校づくりとして、小学生の体験学習等を実施する。	
	地元JAや行政等と連携した体験学習や販売を通して、生徒のレベルアップと農業の魅力づくりに取り組む。	
地域防災を推進する学校	「地域防災を推進する」教育を行います。	地震被害の経験を糧にして、総合型コミュニティスクールを設置し、地域と連携した防災教育に取り組む。